

7 節 アクリル樹脂系非分散形塗料塗り (N A D)

7. 7. 1 一般事項

この節は屋内のコンクリート面、モルタル面等のアクリル樹脂系非分散形塗料の塗替え及び新規に塗る場合に適用する。

7. 7. 2 アクリル樹脂系非分散形塗料塗り

アクリル樹脂系非分散形塗料塗りは表 7.7.1 により、種別は特記による。特記がなければ、B 種とする。

表 7. 7. 1 アクリル樹脂系非分散形塗料塗り

工 程	種別		塗料その他		日本ペイント 商品名	塗付け量 (kg/m ²)
	A 種 種	B 種 種	規格 番号	規格名称		
下地調整	<input type="radio"/> (注) ⁽¹⁾ (注) ⁽²⁾		モルタル面の下地調整は、表 7.2.4 による R B 種とする。コンクリート面の下地調整は、表 7.2.5 による R B 種とする。押出成形セメント板面の下地調整は、表 7.2.6 による R B 種とする。		—	
1 下塗り	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	JIS K 5670	アクリル樹脂 非分散形塗料	ケンエースG-II 塗料用シナ-A 0~10%	0.10
2 研磨紙 ずり	<input type="radio"/>	—	研磨紙 P 220~240		—	
3 中塗り	<input type="radio"/>	—	JIS K 5670	アクリル樹脂 非分散形塗料	ケンエースG-II 塗料用シナ-A 0~10%	0.10
4 上塗り	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	JIS K 5670	アクリル樹脂 非分散形塗料	ケンエースG-II 塗料用シナ-A 0~10%	0.10

(注) 1. 下地調整の種別は、塗料その他の欄による。

2. 新規に塗る場合は、下地調整に代えて、素地ごしらえを、モルタル面は表 7.3.4 による B 種、コンクリート面は表 7.3.5 による B 種、押出成形セメント板面は表 7.3.6 による B 種により行う。

* ケンエースG-IIは艶消しです。艶有り仕上げが必要な場合は「ケンエースG-IIグロス」をご使用ください。

* JIS K 5670 規格では下記商品も使用可能です。

- 下塗り、中塗り、上塗り
- ・ ケンエースG-IIグロス

* 下塗り・中塗り・上塗りとも、同一商品をご使用ください。